

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年01月19日

計画の名称	指定緊急避難場所の強化・充実による安全・安心なまち創り													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	藤枝市													
計画の目標	藤枝市では、令和4年の台風15号や近年頻発している線状降水帯などに対処するため、行政の取り組みだけでなく、市民をはじめ、警察や学校、関連機関等との連携を可能とする体制を整えているが、避難者の受入れ強化が喫緊の課題となっている。広幡地区においても、避難困難者が想定されているため、令和11年度末までに広幡地区に指定緊急避難場所を完成させ、避難困難者0を目指すことで、安全・安心な住環境の創出により、市民の命を守る防災・安全への取り組みを推進し、誰もが暮らしやすい環境整備を行う。 また、広幡地区指定緊急避難場所の整備にあたっては、市の上位計画や住民の利便性、費用対効果などを考慮し、現所在地を含め、候補地を選定すると共に、水害対策、利用者の導線などを踏まえた造成・配置計画により、災害に備えた安全・安心な施設整備を行っていく。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		396	A	396	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年度		令和11年度
1	広幡地区の風水害時における、避難困難者を0にする。 浸水想定区域内における避難困難者の割合を15%から0%へ減少させる。 263人（広幡地区における避難困難者） ÷ 1,803人（広幡地区における想定避難者数）	15%	%	0%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	広幡地区 指定緊急避難場 所整備	広幡地区 指定緊急避難場所 整備	藤枝市			■	■	■	351		－
	A13-002	都市防災	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	広幡地区 指定緊急避難場 所整備	広幡地区 指定緊急避難場所 整備に関する用地買収	藤枝市	■	■				45		－
											小計						396		
											合計						396		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	7				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	7				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	7				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 指定緊急避難場所の強化・充実による安全・安心なまち創り

[illegible]